



松梅タイムズ

学校教育目標 心と松梅を担う心身共に調和のとれた子どもの育成

令和5年4月21日(金)発行
第2号
文責 校長 澁谷 健

令和5年度佐賀市コミュニティスクール認定

入学おめでとう～松梅校入学式 4月11日(火)



小学部2名、中学部8名の新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を楽しみにしていましたよ。大歓迎します。一緒に笑顔あふれる松梅校をつくっていきましょう。校長の式辞で①元気のよい、気持ちの良いあいさつをしよう②学習をがんばろう。③何事も最後まであきらめないで取り組もうという話をしました。ぜひ実行してください。ご来賓の方々、保護者の皆さん、入学式へのご出席ありがとうございました。ご家庭、地域の宝であるお子さまを、職員一同、心身共に調和のとれた子どもに育てていきたいと思えます。今後ともご協力よろしくお願ひします。

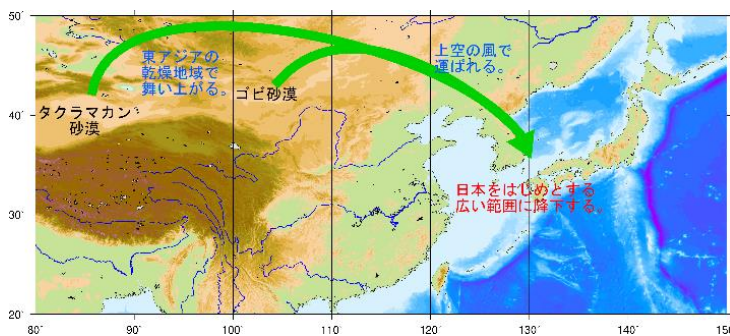
縦割り班対面式

先日、入学式を終えた小学部1年生から中学部3年生までが体育館に集合し、縦割り班の対面式を行いました。全校の児童・生徒を4つの小集団に分けて、松梅オルレや体育祭に取り組むようです。中学部の生徒の進行で対面式はスムーズに会が流れ、「さすが中学生、慣れているなあ」という感じでしたが、小学部の児童の皆さんも、班内の自己紹介でしっかり自分の名前を言えたり、自己PRをしたりしていました。少し照れている児童もいましたが、少しずつ自信をつけて、集団の中で自分を表現できるようになればと思います。



黄砂に吹かれて

ここ最近、全国的に黄砂が飛散しました。私も咳、喉の不調、涙目になるなどで困っています。♪黄砂に吹かれて聞こえる歌は 忘れたくて忘れた 失くしたくて失くした つらい恋の歌～と聞いて、ピンとくる方、お父さんお母さん世代でおられますか。世代的にちょっと微妙なところかもしれませんが、歌手の工藤静香さん(作詞中島みゆきさん)の1989年のヒット曲です。この曲が流行っていたころは、私は「黄砂」と聞いて、そんなに問題だとは感じていませんでした。



(当時はアレルギーも出ていませんでした。)しかし、最近では環境問題、社会問題となっています。黄砂は上図(気象庁HPから引用)のように中国のゴビ砂漠、タクラマカン砂漠から、海を越え、はるか東の日本まで飛散しています。ネット情報ですが、その量は年間500万トン(東京ドームの容積80万杯分)にもなるそうです。想像がつかいませんね。以前は春の風物詩として、「洗濯物が干せない」とか「車が汚れる」程度であったものが、最近ではアレルギー反応の元凶であったり、電波を妨害したり、海洋生物にも悪影響を与えたりすると言われていています。中国国内でも黄砂は問題となっており、大量に木を植え、砂漠化を防ぐ政策をしているようですが、黄砂減少の決定打にはなっていないようです。広大な砂漠を安定させるのは至難のわざなのでしょう。これからも毎年、悩まされるとは困ったものです。

春の関西、楽しかった！～中学部3年生修学旅行

<行程>

- 1日目 佐賀駅集合、かもめ、博多駅からさくらへと乗り継ぎ、新大阪駅へ。USJへ移動し、グループでアトラクションを楽しむ。修学旅行生がまだ少なく、アトラクションは比較的空いていた(ラッキー)。夕食まで現地で済ませ、宿舎へ。
 2日目 バスで京都まで移動し、自主研修へ。清水寺、二条城、東本願寺、伏見稲荷、東寺などを各班にて見学、京都泊。
 3日目 市バスで移動。三十三間堂、養源院を見学。京都駅で昼食、お土産購入。のぞみ、かささぎと乗り継ぎ佐賀へ。



12日(水)～14日(金)の日程で中学部3年生は大阪・京都への修学旅行に行ってきました。初日のユニバーサルスタジオジャパンでは、雨天にもめげず、アトラクションに興じました。2、3日目の京都では多くの文化遺産に触れ、日本のルーツを感じ、見聞を広めることができました。学校を離れ、大都会や古都の街並みを散策する中で、貴重な体験ができたことと思います。



今年度の松梅校のスタッフです。

<小学部>

校長	澁谷 健	いきいき学級担任	個人情報 報保護 のため のHP 上の公 表は控 えます。
副校長	個人情報 保護のた めのHP 上の公表 は控えま す。	わくわく学級担任	
教務主任		級外	
1年担任		特別支援教育コーディネーター (佐賀大学教員派遣)	
2年担任		養護教諭	
3年担任		初任研指導	
4年担任		小学部主査	
5年担任	小学部主事	司書兼事務補	
6年担任	学校事務員		

※

<中学部>

校長	澁谷 健	やまびこ学級担任(英語)	個人情報 保護のた めのHP 上の公表 は控えま す。
教頭(音楽)	個人情報 保護のた めのHP 上の公表 は控えま す。	のぞみ学級担任(数学)	
教務主任(保体)		養護教諭	
1年担任(数学)		初任研指導	
副担任(美術)		主任主査	
2年担任(社会)		司書兼事務補	
副担任(英語)		スクールカウンセラー	
副担任(家庭科)		スクールソーシャルワーカー	
副担任(技術科)		サポート相談員	
3年担任(国語)		ALT	
副担任(理科)			

1年間このスタッフで松梅の子どもたちのために頑張ります！どうぞよろしくお願ひします。

子どもたちのあいさつ、笑顔に癒される毎日です。

教員になって、松梅校で8校目の学校勤務となります。街中の大規模校での勤務が多かったのですが、新規採用から2校目(今から28年前)に勤めた佐賀県の東端の基山中学校は、当時、大型住宅地の造成もあって、福岡市のベッドタウンとして人口流入が続き、生徒数1000名に迫る勢いで1学年9クラスという、少子化の今では考えられないものでした。「教室が足りない」「昼休みに遊ぶ場所がない」「人気の部活動は部員が50名以上いる」「体育館に全校が入場、整列するのに20分かかる」等、あまりの生徒の多さに、所属している学年でさえ、生徒の顔と名前が一致しないことがあり、「雑然とした中での毎日だった」と今となっては懐かしく思い出されます。

また、かつては生徒指導困難校と言われる学校に勤務し、今で言うところのちょっと「やんちゃ」な生徒たちと日々格闘？した日もありました。当時は毎日がエキサイティングで気疲れする日々でしたが、これも今となっては懐かしくもほろ苦い思い出です。

松梅校に赴任して、まだわずかですが、教師生活33年目にして、初めてこんな穏やかで気持ちのいい学校に勤められました。この学校との出会いに感謝しています。

朝の挨拶時にバスから降り、ニコニコしながらハイタッチしてくる児童の姿、給食時間においしそうに給食を頬張る姿、校長室に「好きな食べ物は何ですか？」とインタビューしに来てくれる微笑ましい姿、また、中学部の生徒が、私を見かけたときの礼儀正しい「おはようございます」「こんにちは」と元気に挨拶してくれる姿、どれも癒されます。「教師でよかった」「この笑顔で元気が出てくる」、ちょっと言い過ぎかもしれませんが、まさに教育の原点がここにあるのではと感じています。松梅の児童・生徒たちの笑顔がずっと続くように、もっとあふれるように、これからも気を引き締めて働かなくてはと思っています。